**コミュニティ助成事業計画書**

正式名称を記載し、規約、見積書等添付書類の名称と統一すること。

該当事業にチェック

１　事業名

□　一般コミュニティ助成事業

☑　コミュニティセンター助成事業

自治会規約に記載されている事業所の所在地(記載がない場合は、部落公民館の住所)を記入

２　事業実施主体

|  |  |
| --- | --- |
| 組織の名称 | **琴浦自治会** |
| 事業所所在地 | [所在地]  **〒689－2392**  **鳥取県東伯郡琴浦町大字徳万591番地2**  [電話番号]  **0858－52－2111** |
| 代表者 | [住所]  **〒689－2501**  **鳥取県東伯郡琴浦町大字赤碕1140番地1**  [氏名]  **琴浦　太郎**  [電話番号]  「認可地縁団体」の認可年月日を記入  **0858－55－0111** |
| 結成年月日 | **平成16年9月1日** |

３　財源内訳

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業費総額(Ａ) | 特定充当財源(Ｂ) | 助成申請額(Ａ)－(Ｂ) |
| **２１，５５０，０００円** | **８，６５０，０００円** | **１２，９００，０００円** |

※特定充当財源(Ｂ)はどのような形で充てるか記入してください。

**令和７年部落一般会計に予算計上し、充当する。**

事業費総額のうち10万円未満の金額は、部落負担

４　助成申請事業の趣旨・目的

**本自治会の公民館は、築４０年が経過し、経年劣化が著しく進んでいる状況である。台風、地震、大雪等の災害時において、地域住民の自主避難所として活用するためにも早期修繕が求められる。**

各部落の状況を記入

５　助成申請事業の期待できる効果

**公民館の大規模改修を行うことにより、年間を通じて安心かつ快適に自治会活動を行うことができ、コミュニティ活動の活性化が期待される。また、災害時において地域住民の自主避難施設としての活用も図られる。**

本事業による地域にあらわれる効果と今後の活発な活動について具体的に記載すること。

６　助成申請事業の内容

　(１)　実施期間(予定)

**令和７年６月１日(発注日)～令和７年１２月１日(完成日)**

(２)　実施内容

令和7年度内に実施・完了するものであること。

　　ア　整備する備品(設備)及び管理方法

**公民館大規模修繕**

**備品の維持管理に必要な諸帳簿の整備及び別途管理運営規程を作成するものとし、維持管理費は、事業実施主体が負担する等適切に管理するものとする。**

イ　広報表示(表示内容、場所等)

**「宝くじの社会貢献広報：表示に関するデザインマニュアル」に準拠し、Ａ４サイズのアクリル製プレートを公民館入り口に設置**

☑広報マークの仕様について、発注先の事業者と事前協議済である。

全ての整備備品・備品(付属品・部品含む。)に、宝くじ広報表示を行うことが必須条件。

※広報表示に係る費用も助成対象

(３)　備品(設備)の保管場所(設置場所)

　ア　場所名称

**琴浦町自治公民館**

保管場所(設置場所)の住所を記載

イ　所在地

**琴浦町大字徳万５９１番地２**

保管場所(設置場所)の土地や建物所有者を記載

ウ　土地又は建物の所有者

**琴浦町自治会(平成２０年９月に建物保存登記)**

エ　使用承諾の有無

**事業実施主体が所有者のため、不要**

第三者の土地又は建物で事業実施する場合、必ず使用承諾が必要